

# 1年生 夏休みの学習



|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 日誌「なつやすみ」      | <ul style="list-style-type: none"> <li>問題を解き終わったら、<b>保護者の方で答え合わせ</b>をお願いします。<b>間違えたところは直して</b>提出しましょう。</li> <li>P12・27の工作は、提出する必要はありません。ご家庭で楽しく遊んでください。</li> </ul>                                                                                                                                                             |
| ② 生活作文 または 読書感想文 | <ul style="list-style-type: none"> <li><b>生活作文(400字詰め原稿用紙2～3枚)か、読書感想文(400字詰め原稿用紙2枚)の、どちらかに取り組みましょう。</b></li> <li>作文用紙は、ご家庭で用意してください。</li> <li>題名と氏名は枠の外に書き、1行目から本文を書きましょう。</li> <li><u>生活作文</u>・・・夏休みの思い出ではなく、1学期や夏休みに頑張ったことや挑戦したことなどが書けるとよいです。</li> <li><u>読書感想文</u>・・・物語のあらすじではなく、登場人物や出来事を、自分の生活や体験と絡めて書けるとよいです。</li> </ul> |
| ③ 絵日記 1枚         | <ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みの出来事や頑張ったことなどをかきましょう。</li> <li>文章、絵(色塗り)を、丁寧にかきましょう。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                      |
| ④ すくすくカード        | <ul style="list-style-type: none"> <li>起床・就寝時刻やゲームの時間など、親子で目標を決め、達成できたら色を塗りましょう。</li> <li>最後に、<b>本人の振り返り</b>と<b>保護者の方からのコメント</b>を忘れずに記入しましょう。</li> </ul>                                                                                                                                                                       |
| ⑤ 自分で決めた課題       | <ul style="list-style-type: none"> <li>自由応募作品、音読、計算カードなど、できそうな課題に進んで取り組みましょう。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                       |

## ★自由応募作品 やれる人は挑戦してみよう！

|        |                                                                                  |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------|
| ○ポスター  | ※各応募の詳細や応募票を学校HPに載せますので、取り組む前にご確認ください。                                           |
| ○作文・詩  |                                                                                  |
| ○習字    | ※昨年度より、 <b>ポスター作品は各家庭で応募</b> していただくことになりました。 <u>学校では取りまとめませんので、提出する必要はありません。</u> |
| ○統計グラフ |                                                                                  |

### 読書感想文 課題図書(1・2年生用)

『まこちゃんとコトパロポ』 村上しいこ 佼成出版社  
『なにかいいことあった?』 ミーシャ・アーチャー BL出版  
『うらのまほうのことば』 グレーシー・ジャン 工学図書  
『たねはいのちのおわりとはじまり』 鈴木純 ブロンズ新社

※読書感想文は、上記の課題図書から選んでも自分の好きな本を選んで構いません。



## 令和8年度 夏休み図工作品募集情報

(記載のもの以外にもたくさんのコンクールがあります。「夏休み 小学生向け コンテスト・コンクール」で検索)

|   | コンクール名                                         | 応募出来る人 | 作品内容                                                                                                                                   | 画材・サイズ規定など                                                                                                                                    | 賞など                                               | 応募期限                        |
|---|------------------------------------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------|
| 1 | 第23回「虫や植物とふれあうコンテスト」<br>フマキラー(株)               | 全学年    | 虫や植物を題材にした自由な創作                                                                                                                        | 作品のサイズや、画材等は自由。梱包した際に破れたり、壊れたりしないようにする。                                                                                                       | 全員に参加賞あり<br>提出方法、提出先はコンクールのホームページ参照               | 家庭で自由応募<br>9月30日<br>当日消印有効  |
| 2 | 第21回「環境絵画コンクール」<br>パナソニック<br>HVAC&CC株式会社       | 全学年    | テーマ「未来へつなごう！おいしい空気・水・食べもの」<br>きれいな空気や水、おいしい食べものを、みんなで未来へつなごう！大切な自然、そこで育つ生きものや野菜、果物などを描き、メッセージも書く                                       | 用紙は四つ切サイズ(540mm×380mm)<br>画材は自由<br>応募作品の返却はなし                                                                                                 | 全員に参加賞あり<br>提出方法、提出先は「パナソニック 第21回環境絵画コンクール」を検索    | 家庭で自由応募<br>9月7日必着<br>当日消印有効 |
| 3 | マイナビ小学生<br>将来になりたい職業<br>コンクール                  | 全学年    | 「将来になりたい職業」の絵画を画用紙に自由に描く                                                                                                               | A3か四つ切の画用紙に自由に描く。縦、横、画材は自由。<br>デジタル作品は不可。生成AIの使用は禁止。                                                                                          | 全員に参加賞あり。<br>提出方法、提出先はコンクールのホームページ参照              | 家庭で自由応募<br>9月17日必着          |
| 4 | 第44回「海とさかな」<br>自由研究・作品コンクール<br>朝日新聞社・朝日学生新聞社主催 | 全学年    | テーマ「海とさかなとわたしたち」<br>たくさんの命を育てている海。わたしたちが普段食べている魚。海も魚も私たちの暮らしと深くつながっています。なぜ、どうして？と、海や魚の不思議やその美しさに目を向けて、自由研究、かんさつ図、作文、工作、絵画で「表現」してみましょう。 | A3か四つ切の画用紙に自由に描く。縦、横、画材は自由。<br>デジタル作品は不可。または四つ切画用紙1枚(八つ切りなどちいさい分には応募可能)<br>※絵画は写真や図巻、インターネットの画像をそのまま描くのではなく、実際に見た光景や想像した世界を描くこと。デジタル作品の応募は禁止。 | 全員に参加賞あり。<br>提出方法、提出先はコンクールのホームページ参照              | 家庭で自由応募<br>9月25日<br>当日消印有効  |
| 5 | 令和8年度<br>食育ポスターコンクール                           | 全学年    | 食育をテーマとした作品(朝ご飯、野菜、地産地消、食文化継承、食品ロス削減など)                                                                                                | 四つ切画用紙に横描き。(縦描きは応募できません)クレヨン、クレパス、水彩絵の具、カラーペン等を使用。(ただし、立体性のある作品は不可)提出時に作品を折り曲げないこと。                                                           | 全員に参加賞あり<br>提出方法、提出先は岡崎市食育ポスターコンクールで検索(岡崎市ホームページ) | 家庭で自由応募<br>8月31日必着          |

### <応募について>

- ・学校で応募作品を取りまとめることはしません。作品は全て個人応募になります。各ホームページより、募集要項をよく読んでいただき、御家庭から自由に応募してください。
- ・宿題として図工作品を学校へ提出する必要はありません。

# ◆生活作文の書き方◆

岡崎市現職研修委員会 国語部

毎日のくらしの中で心が動いたり、自分が変わったたりしたことを、文章に書いてみましょう。書くことで、自分の心の成長や周りの人たちの思いに気付いたり、世の中を見る新しい考えにたどりついたりします。思い出して作文にするには、少し努力が必要ですが、ぜひチャレンジしてみてください。

「どう書いたらいいのかな？」と、こまっている子へアドバイスです。



## ◆よい作文のポイント



①題材は身近なものを…何気ない生活の中に、あなたの心が動いたしゅん間があるはずです。



おもしろかったこと、くやしかったこと、大切にしていること……。その中で変化した自分を感じることは、文章にしてみる値打ちがあります。

②組み立てメモを………  
つくろう



原稿用紙にいきなり書き始めると、うまくまとまりません。何を、どのような順で書くか考えてから、まず組み立てメモをつくりましょう。物事の始まりと終わりを決めて、その中にいくつのが連なっているかを書き出しましょう。

③五感を使おう………そのときの様子をよく思いだすことがいちばん大切です。読み手に伝えるために、言葉を選びましょう。よく見ることはもちろんですが、どのような音やにおい



だったのか、さわった感じや、食べたり飲んだりした味も大切なポイントです。会話文も、場面の様子や人間関係をはっきりとさせましょう。そして、視覚①・聴覚②・嗅覚③・味覚④・触覚⑤の、人間のもつ五つの感覚をたっぷりと使って書けるといいですね。

④自分の心の成長を………文章のはじめと終わりで、自分の成長（心の変化）が読み手に伝わっているか、ふり返ろう  
確認しましょう。

★これまでに「文集おかざき」にのった作品の題名です。参考にしてみてください

- ・ぼくはお兄ちゃん
- ・はじめてのおつかい
- ・わたしのきらいな木よう日



- ・ぼくのアゲハチョウ
- ・十年後の私と梅酒
- ・おねえちゃんみたいになりたいな



## ◆詩や説明的文章にもチャレンジを

何気ない生活の中で、あなたの心がぐっと動いたしゅん間を切り取って、短いことばでリズムにのせて表現してみましょう。ロズさんでみると、そのときの気持ちが見えかんとくるような、そんなことばで表現ができると、すてきな「詩」になつていくと思います。

また、テーマを決めてじっくり観察や実験、取材をすることができたら、結論までの筋道を証拠を示しながら書いてみましょう。資料として表やグラフ、写真などをつけて表現すると、「説明的文章」です。

ただし、インターネットなどの資料を勝手に使用することは、禁じられています。せっかく自分で書く文章ですので、資料も自分で手作りしましょう。

## ◆「これは、ぜったいにダメ！」



他人の文章をそっくりまねたり、そのまま写したりすることは、とてもいけないことです。また、インターネットで得られた文章や資料をそのまま使うことも法律で禁じられています。どうしても引用したいときは「」を使って、読む人にここを引用したということをはっきりさせる必要があります。作品を書く上で参考にしたものがあるならば、「参考文献」として、その本の題名を作品の後ろに必ず書いておきましょう。Aーを使って作成した文章を入れることも、やってはいけません。

自分の思いや考えを自分自身のことばで表現してこそ、すべた文章と言えるのです。

生活作文を書こう

年 組 名前

○毎日のくらしの中から、心にのこったことを書こう

一 毎日の生活の中で、強く心にのこったことを思い出してみましょう。その中の出来事できごとをくわしく思い出し、書くことの題材だいざいを集めてみましょう。

【れい】

・さか上がりができて、うれしかったこと

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

二 右の題材だいざいの中から、心に強くのこったことを一つ選んで、書くことの材料そつりょうをたくさん集めましょう。

| 心に強くのこったこと                        |                                   |                                   |                                   |                                   |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| <div><div></div><div></div></div> | <div><div></div><div></div></div> | <div><div></div><div></div></div> | <div><div></div><div></div></div> | <div><div></div><div></div></div> |

① 心に強くのこったことを、わかりやすくつたえるために、どんなことを書いたらよいのか、○の下に書いてみましょう。

② どんなじゅんじよで書いていくとよいか考えて、○の中に番号を入れましょう。

③ 作文の組み立てを考えましょう。①と③を○の上の□に書き入れましょう。

①「はじめ」…「中」につながることを、書き出し

②「中」…くわしく書きたいこと

③「おわり」…まとめ

④ 心がいちばん動いたことに、◎をつけましょう。◎をつけたところを、いちばんくわしく、たっぷりと書くようにしましょう。

三　二の「書くことの材料」をもとに、組み立てメモを作りましょう。特に、次のことに気をつけて書きましょう。

①はじめ・中・終わりの組み立てを考えて、じゅんばんに書く。

②短い文で内ようを書く。

③会話やそのときの気持ちは、思い出したことを、できるだけその通りに書く。

| おわり |  |  |  | 中 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | はじめ |  |  | 組み立て        | だい名         |
|-----|--|--|--|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|-----|--|--|-------------|-------------|
|     |  |  |  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  | したこと        |             |
|     |  |  |  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  |             | いちばんつたえたいこと |
|     |  |  |  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |     |  |  | そのときの気持ちや会話 |             |

四 この組み立てメモをもとにして、作文を書いてみましょう。

## 説明文を書こう

年 組 名前

○知りたいことを調べて、わかったことを整理して書いてみましょう。

一 テーマ（調べること）を決めよう

毎日の生活の中で、「ふしぎだな」とか「おもしろそうだな」と感じることから、調べてみたい課題を見つけましょう。

① 日常生活の中で、自分が興味・関心をもったこと。

② 右の中から一つ選び、テーマにしよう。

③ 調べようと思った理由を書こう。

二 調べて材料を集めよう

① 調べる方法を考え、実験や調査をする

- ・ 実験する
- ・ 観察する
- ・ 専門の人に聞いてみる
- ・ アンケートをとる
- ・ 図書館やインターネットで調べる（どの本、どのホームページで調べたか、必ず記録しておくようにしよう）

② 調べたことを記録に残す

- ・ メモ
- ・ 写真
- ・ 図表
- ・ グラフ
- など

これらを資料として使うことができます。自分が書きたい文章にあわせて、必要なものを使っていこう。作文の最後に「参考文献」として書いておきましょう。ただし、本やインターネットで調べたもので、書き手がはっきりせず、内容が確かではないものは使わないようにしましょう。

### 三 説明文の構成を考えよう

調べたことをわかりやすくまとめるための「組み立てメモ」を作ろう。  
説明文の構成は、大きく三つに分けられます。

| おわり【結論】                                                                | なか【本論】                                                                                                                    |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | はじめ【序論】                                                                            | 組み立て      | 題名 |
|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめ</li> <li>・考察や感想</li> </ul> | <div>※調べた内容にあわせて段落を分けるとよい</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想</li> <li>・調べる方法</li> <li>・調べてわかったこと</li> </ul> |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマの説明</li> <li>・動機（調べようと思った理由）</li> </ul> | おもな内容     |    |
|                                                                        |                                                                                                                           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                    | 書くこととその順序 |    |
|                                                                        |                                                                                                                           |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |                                                                                    | 説明に使う資料   |    |

### 四 この組み立てメモをもとにして、説明文を書いてみましょう。

参考・引用文献

「作文の友」愛知教育文化振興会 三河教育研究会著  
「表現の友」愛知教育文化振興会 三河教育研究会著

# どくしょかんそうぶん 読書感想文コンクール作品募集について

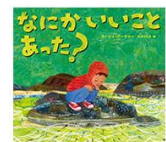
## 1 対象図書（教科書、副読本、雑誌は対象としない。）

\*自由読書（自分で本を選びます）

\*課題読書

### 小学校低学年の部

|                 |                          |        |
|-----------------|--------------------------|--------|
| まこちゃんとコトパロボ     | 村上しいこ 作<br>たんじあきこ 絵      | 佼成出版社  |
| なにかいいことあった？     | ミーシャ・アーチャー 作<br>石津ちひろ 訳  | BL出版   |
| ララのまほうのことは      | グレーシー・ジャン さく<br>やのあやこ やく | 工学図書   |
| たねはいのちのおわりとはじまり | 鈴木 純 著                   | ブロンズ新社 |



### 小学校中学年の部

|                                    |                                            |        |
|------------------------------------|--------------------------------------------|--------|
| まだまだここから                           | 宇佐美牧子 作<br>酒井 以 絵                          | ポプラ社   |
| それからぼくはひとりて歩く                      | アリシア・モリーナ 作<br>星野由美 訳<br>犬吠徒歩 絵            | ほるぷ出版  |
| おいしいお米をつくりたい！：ゆうちゃん、小学生で農家に弟子入りました | 谷本雄治 著                                     | 汐文社    |
| 宇宙でウンチ：みんなの知らない宇宙トイレのひみつ           | A・ボンドーニストーン、C・ホワイト 作<br>L・ケンセス 絵<br>千葉茂樹 訳 | あすなろ書房 |



### 小学校高学年の部

|                         |                                                             |       |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------|-------|
| ポジション！                  | 高田由紀子 作                                                     | 岩崎書店  |
| リヒト！                    | イノウエミホコ 作                                                   | 文研出版  |
| ミシュカ                    | エドワルト・ファン・デ・フェンデル、<br>アヌッシュ・エルマン 作<br>アネット・スカーブ 絵<br>野坂悦子 訳 | 静山社   |
| キミの一步アフリカ：ゾウを食べるにはひと口ずつ | 味田村太郎 文                                                     | あかね書房 |



## 2 字数・用紙・とじ方

\*原稿用紙（400字詰め B4またはA4）

低学年の部 2枚 800字以内（昨年と同じ）

中・高学年の部 3枚1,200字以内（昨年と同じ）

\*作品には、題名・学年・氏名 を欄外に書く。

\*学校名は、原稿用紙に書かない。

\*原稿用紙は、必ず本人の自筆にすること。教師の字の場合、失格となる。

読書感想文を書いてみよう

本を読んで、わくわくした、ときどきした、涙が出そうになった、などありませんか。現実にはない世界を、自分の頭で想像しながら読む楽しさ、主人公と自分を重ねて、励まされた経験。読書を通して感じたさまざまなことを文にしてみよう。「読書感想文は自分自身の記録」ということばがあります。書くことで、自分を見つめ直し、さらに自分を成長させていきましょう。

|                                                    |                      |                 |
|----------------------------------------------------|----------------------|-----------------|
| <div>本が読み終わったら、ここに書く</div> <div>自分が今後してみたいこと</div> | <div>本の題名</div>      | <div>作者</div>   |
| <div>自分の経験と重なるところ</div>                            | <div>その本を選んだ理由</div> | <div>あらすじ</div> |
| <div>心を動かされたところ③</div>                             | ↓                    |                 |
| <div>心を動かされたところ②</div>                             | ↓                    |                 |
| <div>心を動かされたところ①</div>                             | ↓                    |                 |
| <div>理由</div>                                      | <div>理由</div>        |                 |
| <div>自分が考えたこと</div>                                |                      |                 |

# 読書感想文用シート

ほん なまえ  
本の名前

さくしゃ  
作者

☐ <sup>ほん えらんだ</sup> <sup>りゆう なん</sup>  
この本を選んだ理由は何ですか？

☐ <sup>しゅじんこう</sup>  
どんな主人公でしたか？

☐ <sup>おし</sup> <sup>くだ</sup>  
あらすじを教えてください。

☐ <sup>す</sup> <sup>とうじょうじんぶつ</sup> <sup>りゆう</sup>  
好きな登場人物は？その理由は？

- ☐ 一番 <sup>いちばん</sup>心に残った <sup>のこ</sup>出来事や <sup>できごと</sup>言葉 <sup>ことば</sup>はありますか？  
そして、そのことをどう <sup>かん</sup>感じましたか？

- ☐ 好きな <sup>す</sup>登場人物 <sup>とうじょうじんぶつ</sup>と自分 <sup>じぶん</sup>をくらべてみましょう。  
自分 <sup>じぶん</sup>なら どう <sup>こうどう</sup>行動したり <sup>かんが</sup>考えたりしますか？  
その <sup>けっか</sup>結果はどうか？

- ☐ 登場人物 <sup>とうじょうじんぶつ</sup>とは <sup>こうどう</sup>ちがう行動や <sup>いけん</sup>意見はありますか？

- ☐ この本は<sup>ほん</sup>何<sup>なに</sup>について<sup>か</sup>書<sup>ほん</sup>かれた本<sup>おも</sup>だと思<sup>おも</sup>いますか？

- ☐ この本を<sup>ほん</sup>読<sup>よ</sup>んで<sup>まな</sup>学<sup>こと</sup>んだ事<sup>こと</sup>はありますか？

- ☐ 本を<sup>ほん</sup>読<sup>よ</sup>んで<sup>なに</sup>何<sup>じぶん</sup>か<sup>へんか</sup>自<sup>へんか</sup>分<sup>へんか</sup>に<sup>へんか</sup>変<sup>へんか</sup>化<sup>へんか</sup>はありますか？

<sup>いちばん</sup>一<sup>いちばん</sup>番<sup>こころ</sup>心<sup>うご</sup>が<sup>うご</sup>動<sup>うご</sup>か<sup>うご</sup>さ<sup>うご</sup>れ<sup>うご</sup>た<sup>うご</sup>こ<sup>うご</sup>とは何<sup>うご</sup>で<sup>うご</sup>す<sup>うご</sup>か<sup>うご</sup>？

<sup>かんが</sup>そ<sup>かた</sup>の<sup>き</sup>考<sup>も</sup>え<sup>ひょうげん</sup>方<sup>ひょうげん</sup>や<sup>ひょうげん</sup>気<sup>ひょうげん</sup>持<sup>ひょうげん</sup>ち<sup>ひょうげん</sup>を<sup>ひょうげん</sup>表<sup>ひょうげん</sup>現<sup>ひょうげん</sup>で<sup>ひょうげん</sup>き<sup>ひょうげん</sup>ま<sup>ひょうげん</sup>す<sup>ひょうげん</sup>か<sup>ひょうげん</sup>？

- ☐ あん<sup>おも</sup>な<sup>おも</sup>ふ<sup>おも</sup>う<sup>おも</sup>に<sup>おも</sup>な<sup>おも</sup>り<sup>おも</sup>た<sup>おも</sup>い<sup>おも</sup>な<sup>おも</sup>！<sup>おも</sup>と<sup>おも</sup>う<sup>おも</sup>こ<sup>おも</sup>と<sup>おも</sup>は<sup>おも</sup>あ<sup>おも</sup>り<sup>おも</sup>ま<sup>おも</sup>し<sup>おも</sup>た<sup>おも</sup>か<sup>おも</sup>？

- ☐ 今<sup>こんご</sup>後<sup>こんご</sup>に<sup>こんご</sup>い<sup>なに</sup>か<sup>なに</sup>せ<sup>なに</sup>ら<sup>なに</sup>れ<sup>なに</sup>る<sup>なに</sup>こ<sup>なに</sup>と<sup>なに</sup>は<sup>なに</sup>何<sup>なに</sup>か<sup>なに</sup>あ<sup>なに</sup>り<sup>なに</sup>ま<sup>なに</sup>す<sup>なに</sup>か<sup>なに</sup>？

第23回 徳川記念財団コンクール in 岡崎

# 徳川家康公 作文コンクール



〔東照宮御影(四月十七日拝礼)〕徳川記念財団所蔵

**課題** 「家康公の平和思想と徳川将軍たち

～今に受け継がれる心～」 題名・内容は自由

**応募期間** 2026年9月1日(火)～9月30日(水) 当日消印有効

**表彰式** 2026年11月29日(日) 13時 長営館

主催／公益財団法人 徳川記念財団

後援／岡崎市、岡崎市教育委員会、岡崎商工会議所、中日新聞社、大樹寺、伊賀八幡宮

協力／タニザワフーズ(株)、一般社団法人 徳川家康公に学ぶ会、岡崎信用金庫



徳川宗家十九代当主  
公益財団法人 徳川記念財団理事長  
徳川 家広

こちらのQRコードから  
徳川記念財団表彰活動を  
ご覧いただけます



# 第23回 徳川記念財団コンクール in 岡崎 開催にあたって

今年も徳川家康公の生誕の地である岡崎市で、「徳川家康公作文コンクール」が実施されることについて、嬉しく思っております。

戦後の平和も80年を超え、すっかり日本社会に「平和第一」の考え方が定着したように思われます。そのいっぽうで、遠い国々で激しい戦争が起こり、多数の罪のない人々が殺害され、さらにその影響は経済面から日本にも及ぼうとしています。また、日本国内でも、このような世界情勢の流れに対応して、日本が誇るべき平和主義以外の道をとるべきだという安易な考え方が勢いを得るとい、心配するべき事態が生じています。

江戸の平和、戦後の平和が長続きしてきたことが、決して惰性などではなく、やっと実現した争いのない社会をいかにして持続させるか、乱世に逆戻りさせないかという、先人たちの必死の思索の結果であったということを、家康公の生涯と事績を通じて考えていただければ幸いです。



徳川記念財団  
ホームページ



徳川宗家十九代当主  
公益財団法人  
徳川記念財団理事長  
徳川 家広

## 家康公の平和思想と徳川将軍たち 〜今に受け継がれる心〜

### 「家康公の平和思想」

どのようなことを言うのでしょうか。乱世とか戦国・戦争というのはイメージしやすいですね。騎馬に乗った武士、槍で戦う足軽たち、弓矢や鉄砲玉が飛び交う戦場、焼かれたり壊されたりする家や町、などでしょうか。では「平和」という言葉からは何がイメージされるのでしょうか。

「争いのない社会」と言えば簡単ですが、皆さんにはどのようなイメージがわきますか。田畑で黙々と働く農民たち。笑顔が見えます。賑やかな市で売り買いを楽しむ人々、幸せそうな家族のだんらん、道端で遊ぶ子供たち、などでしょうか。戦乱の社会は人々のそんな日常を壊してしましますが、こうして考えると、平和な社会というのは、当たり前前の日常を過ごすことができる社会、と言えるのかもしれません。

およそ一五〇年も続いたとされる「戦乱の時代」の真っ只中に生まれたのが徳川家康公でした。家康公はその七十五年の生涯をかけて、戦のない社会を築くために戦い続けたのです。でもそれだけではありません。

「人々が安心して暮らせるような社会の仕組みを創る」これが家康公の平和思想の中身なのです。

これが家康公の平和思想の中身なのです。有名で「厭離穢土、欣求浄土」の言葉を大樹寺で授けられて以来、家康公のまなざしは「浄土のような社会」の実現に向けられていました。関ヶ原の戦いに勝利し、実質的な天下人になってからは、いよいよ平和で安心して暮らすことができる社会の実現をめざして、様々な制度や仕組みを創り始めました。武士たちが勝手に争うことを厳しく戒めた「武家諸法度」が代表的なもので、そのようなことが書かれていたのでしょうか。さらにはお金の価値を定めたり、街道や宿場町の整備をしたり、数多くの安心社会の仕組みを創り上げていったのです。そしてその平和思想や社会の仕組みは、二代将軍秀忠以降の歴代の将軍たちへと引き継がれて行きました。彼らが家康公の平和思想をどのように受け継いでいったのか調べてみることも興味深いですね。

(文・市橋章男)

## 第23回「徳川記念財団コンクール in 岡崎」徳川家康公作文コンクール募集要項

### 課題 「家康公の平和思想と徳川将軍たち〜今に受け継がれる心〜」 題名・内容は自由

自分の住むまちと家康公や三河武士や戦国大名たちについて、本を読んだり、調べたり、近所の史跡に行き観たり、聞いたりして、感じたこと・思ったことを書いて下さい。

- 【参考例】 1. 家康公と岡崎とぼくやわたしについて 2. 三河武士のやかた家康館に行ってみて  
3. 家康公がつくった江戸時代からいまに残る清潔で安全な暮らしや文化、お祭り、特産品などについて  
4. 岡崎城前の家康公遺言碑について 5. 家康公の旗印「厭離穢土 欣求浄土」について

### 対象 岡崎市内の小・中学校に在学中の児童・生徒

- 応募規定**
- 応募作品は自作の未発表のものに限り、1人1編とします。 ●作品の著作権は、主催者に帰属します。
  - 作品の返却はしませんので、必要場合は事前にコピーをして下さい。 ●日本語により表記されたものに限ります。
  - 作品の枚数は表紙を除き400字詰め縦書き原稿用紙で、小学校1・2年生は1枚程度、小学校3年生は2枚程度、小学校4～6年生と中学生は5枚以内とします。(図表も必要な場合は含む) 右上端をホチキスで留めて下さい。
  - 鉛筆(HBまたはB)で濃く書いてください。応募する児童・生徒の直筆に限り、ワープロ・パソコンの作品は認めません。
  - 作品には表紙を付け、「題名」、応募者の「学校名、学年、名前(ふりがな)」をご記入してください。

### 応募期間 2026年9月1日(火)～9月30日(水) 当日消印有効

**送付先 応募方法** 応募は学校ごとに取りまとめて応募リストに必要事項をご記入のうえ、作品と同封し送付して下さい。  
送付先 〒444-0912 岡崎市井田西町1番地2 タニザワフーズ(株) 徳川記念財団コンクール in 岡崎 係

|             |              |               |                 |           |
|-------------|--------------|---------------|-----------------|-----------|
| <b>審査要項</b> | <b>最優秀作品</b> | 徳川賞 1編        |                 |           |
|             | <b>優秀作品</b>  | 家康賞 3編        |                 |           |
|             |              | 岡崎市長賞 1編      | 岡崎市教育委員会教育長賞 1編 |           |
|             |              | 岡崎商工会議所会頭賞 1編 | 中日新聞社賞 1編       | 大樹寺貞主賞 1編 |
|             |              | 伊賀八幡宮宮司賞 1編   | 龍城神社宮司賞 1編      |           |
|             |              | 歴史審査員特別奨励賞 1編 | 合計12編程度         |           |

審査員は学識経験者4名程度です。受賞者に賞状ならびに副賞、応募者全員に参加賞があります。入賞発表は11月初旬に行い、事務局より所属の小・中学校を通じて入賞者へ通知します。

**表彰式(予定)** 2026年11月29日(日) 長営館 授与者 徳川宗家十九代当主 徳川記念財団理事長 徳川家広氏ほか

**その他** 入賞者名及び優秀作品の一部は、公益財団法人 徳川記念財団のホームページに掲載します。また、入賞者は、報道発表において、氏名・学校名・作品・顔写真を掲載される事があります。

第40回感動作文コンクール

作品添付票

がっこうでいしゅつきげん  
学校提出期限

8月 27日 (木)

エントリーNo.

E10077

|       |             |     |   |
|-------|-------------|-----|---|
| タイトル  |             |     |   |
| ふりがな  |             | 学 年 |   |
| 氏 名   |             |     | 年 |
| 都道府県  | 愛知 都 道 府 県  |     |   |
| 学 校 名 | 岡崎市立広幡小 学 校 |     |   |

【応募前チェック】(□に✓を入れて下さい)

- ☐ 上枠内は全て記入し、この添付票を応募作品の右上に添付しています  
(賞状にも使用しますので、名前は漢字表記で正しくお書きください)
- ☐ 手書きによる作品です
- ☐ 同様の作品を他のコンクールに二重に応募していません
- ☐ 作品の盗作ではありません
- ☐ 生成型 AI を使って作成した作文、及び生成型 AI を使って作成した作文に手を加えた作品ではありません
- ☐ 必要に応じてコピーを取って応募しています (作品は返却いたしません)

※コンクールに関するお問い合わせは、学校を通してご連絡ください

キリトリ

・枚数規定 (400 字詰原稿用紙の場合)

- 小学校の部、中学校の部…2枚から3枚(1200字)まで
- 高校の部…3枚から5枚(2000字)まで



・テーマは感動、タイトルは自由です  
感動するときにどんなとき?たとえば…

- ・家族とかかわりや、人のやさしさにふれたとき
- ・夏休みや、部活、習い事で体験したこと
- ・自然や生き物にふれたとき
- ・社会課題 (SDGs など) への取り組み体験
- ・読書、テレビ、SNSに学んで行動にうつしたこと

・応募に関する注意事項

同様の作品を他のコンクールに応募する二重応募や、ネット上などの作品を書き写す盗作、生成型 AI を使用した作品は、応募無効となります。コンクールに関するお問い合わせは、学校を通してご連絡ください。

小学生 全学年対象

はたらく人を応援する

ぜひ  
応募してね!

学習課題に  
おすすめ!

応募受付

2026. 7/1(水)  
~9/11(金)

※当日消印有効

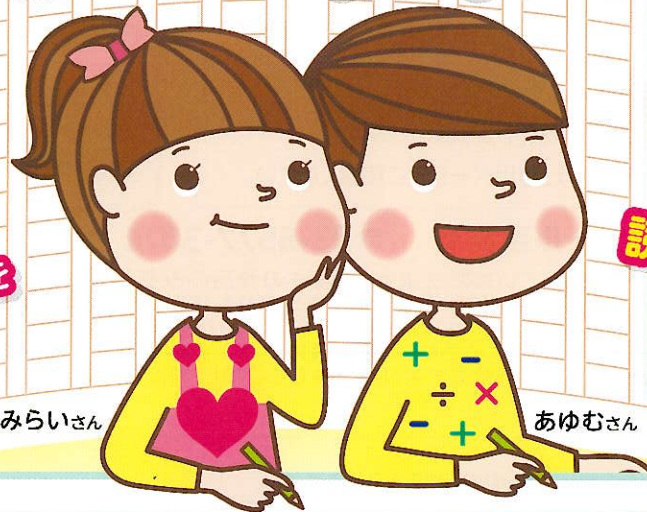
## 第13回 こども作文コンクール

# 「ありがとう」

# 感謝の心を、未来へつなぐ。

参加賞

ご応募いただいた方  
全員に  
オリジナルの参加賞を  
プレゼント!



みらいさん

あゆむさん

大賞作品は

読売新聞および  
読売KODOMO新聞に  
全文掲載  
いたします!

募集テーマ ①②③のうちどれかを選び、作文にしてください。(400字詰原稿用紙3枚以内)

### ① 身近なはたらく人へ、 ありがとう

たとえば

はたらいている  
家族へ

学校や習い事の  
先生へ

町を守る  
おまわりさんへ

など、感謝の気持ちを作文にしよう!

### ② あこがれの仕事、 かなえたい夢

たとえば

シェフになりたい

消防士になりたい

スポーツ選手になって、  
金メダルをとりたい

など、将来の夢を作文にしよう!

### ③ みんなに伝えたい わたしの町

たとえば

自慢したい  
場所

楽しい  
お祭り

おいしい  
食べ物

など、あなたの町のことを作文にしよう!

### 賞と賞典

- 大賞(3名).....賞状と副賞(図書カード5万円分)
- 優秀賞(3名).....賞状と副賞(図書カード3万円分)
- 読売新聞社賞(3名).....賞状と副賞(図書カード2万円分)
- あんしん財団賞(3名).....賞状と副賞(図書カード2万円分)
- 審査員特別賞(3名).....賞状と副賞(図書カード2万円分)
- 佳作(10名).....賞状と副賞(図書カード5千円分)

受賞された方は、11月7日(土)に東京都内で開催される  
表彰式にご招待いたします。

### 応募資格

小学校1年生～6年生

※下記3つの部に分けて審査します。

●小学1年～2年生の部 ●小学3年～4年生の部 ●小学5年～6年生の部

### 応募方法

原本郵送またはWebサイトでご応募ください。

詳しくは、あんしん財団Webサイトをご覧ください。

審査員



明治大学教授  
齋藤 孝



作家  
三浦 しをん



作家  
椰月 美智子

読売新聞東京本社  
イノベーション本部長  
本村 譲

政策研究大学院大学  
名誉教授  
橋本 久義

主催: 読売新聞

共催:



一般財団法人

あんしん財団

後援: 文部科学省、全国都道府県教育委員会連合会

お問合せ こども作文コンクール事務局

☎03-5577-3074 (平日10:00~18:00)

あんしん財団Webサイトに専用ページを開設中!

あんしん財団 作文

検索



郵送応募の場合

下記の応募用紙に必要事項をご記入のうえ、作品原本に添付し、右記事務局へご郵送ください。

団体で応募される方(学校や塾など)

A【団体とりまとめ用紙】とB【応募用紙】を記入のうえご提出ください。

Aは、とりまとめた作品に添えてください。

Bは、作品の1枚目に添えて、ホチキス留めしてください。

個人で応募される方

B【応募用紙】を記入のうえご提出ください。

Bは、作品の1枚目に添えて、ホチキス留めしてください。

〒101-0047  
東京都千代田区内神田1-15-11  
千代田西井ビル7階

こども作文コンクール  
「ありがとう」感謝の心を、未来へつなぐ。  
事務局AZ係

切り取って封筒の宛名としてご利用ください。  
※はがれないようにしっかり糊付けをお願いいたします。

応募受付  
2026年7月1日(水)～9月11日(金)  
※当日消印有効

Web応募の場合

右記専用ページの応募フォームで必要事項を入力の上、作品を添付し、ご応募ください。

団体・個人ともに作品にはB【応募用紙】を添えてください。

● 団体の場合はA【団体とりまとめ用紙】の添付をお願いします。

● Web応募にあたっての注意事項があります。専用ページでご確認ください。

こども作文コンクール 専用ページ

あんしん財団 作文 検索

Web応募のほか、応募用紙や原稿用紙のダウンロードができます。

お問 合 せ

こども作文コンクール事務局 ☎03-5577-3074 (平日10:00～18:00)

注 意 事 項

※お一人1作品の受付とさせていただきます。手書きの作品のみ受付します。※応募作品は、自作・未発表のものに限り、連名での応募は認めません。※AIソフトなどを用いて書かれた作文であると発覚した場合には、応募を無効とさせていただきます。※著作権は、読売新聞社に帰属します。応募作品の返却はいたしません。※応募に関する個人情報、本コンクールの選考作業・連絡・発表以外には利用しません。※受賞者には10月中旬ごろ、直接事務局からご連絡いたします。※受賞者の学校名、氏名や受賞作品は、読売新聞および読売 KODOMO 新聞での掲載、読売新聞社のホームページ、あんしん財団の広報誌とホームページ等で発表する予定です。

A【団体とりまとめ用紙】

「所在地」は参加賞の送付先となります。

|         |     |            |      |
|---------|-----|------------|------|
| ふりがな    |     |            |      |
| 学校名・団体名 | 立   | 小学校        |      |
| 所在地     | 〒   | 都 道<br>府 県 |      |
| 連絡先電話番号 | ( ) | -          | ご担当者 |

応募作品の内訳をご記入ください。

| テーマ               | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 応募人数<br>合計 |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------------|
| ① 身近なはたらく人へ、ありがとう | 名   | 名   | 名   | 名   | 名   | 名   | 名          |
| ② あこがれの仕事、かなえたい夢  | 名   | 名   | 名   | 名   | 名   | 名   |            |
| ③ みんなに伝えたい わたしの町  | 名   | 名   | 名   | 名   | 名   | 名   |            |
| 学年別の合計            | 名   | 名   | 名   | 名   | 名   | 名   |            |

B【応募用紙】

※応募者は全員ご記入ください。

|                   |                                                         |     |        |
|-------------------|---------------------------------------------------------|-----|--------|
| テーマ               | ① 身近なはたらく人へ、ありがとう / ② あこがれの仕事、かなえたい夢 / ③ みんなに伝えたい わたしの町 |     |        |
| 作品タイトル            |                                                         |     |        |
| ふりがな              | ふりがな                                                    | 立   | 学年     |
| 氏名                | (男・女)                                                   | 学校名 | 小学校 年生 |
| 応募のきっかけ           | 1. 読売新聞 2. 読売KODOMO新聞 3. Webサイト等 4. 学校等からの案内 5. その他 ( ) |     |        |
| AIソフトなどを使用しておりません | <input type="checkbox"/> はい                             |     |        |

※個人応募の方は下記連絡先をご記入ください。参加賞の送付先となります。※団体応募の方は不要です。

|      |   |            |                |
|------|---|------------|----------------|
| ふりがな |   |            |                |
| 自宅住所 | 〒 | 都 道<br>府 県 | 日中の連絡先電話番号 ( ) |

だい 第29回

木のあふくらし



おうぼしめきり 応募締切 2026年9月4日(金) 消印有効

夏休みの宿題に!



今年の型紙は小物入れ!  
※写真は作成例です。

テーマ

まわりにある木のこと

木に触れ想像を広げる時間は、感性と考える力を育みます。  
木について感じたことを200字から応募できるよ!  
あなたの自由なアイデアを作文にしてみよう。

## 応募資格

- 低学年の部/小学1～3年生 ならびにこれに準ずる学年・年齢
- 高学年の部/小学4～6年生 ならびにこれに準ずる学年・年齢

## 応募のきまり

- 作文のタイトルは自由
- 学校名、学年、名前を記入
- 原稿用紙に本人手書き
- 文字数は200字～1,200字程度



応募方法はコチラ

## 応募方法

- 学校単位・個人どちらでも応募可。応募方法は3つ。

※作文と応募用紙1枚を送るだけ! 応募用紙はホームページからダウンロードできます。Googleフォームは応募用紙不要。

1 郵送

2 メール

3 Googleフォーム

## 審査員



イラストレーター  
はせがわゆうじ



「あしたは生きたい」  
(文・もりのきく) 実業之日本社



南雲国語教室 主宰  
南雲 ゆりか



国土交通省 住宅局  
住宅生産課 木造住宅振興室長  
大島 敦仁

(株)朝日学生新聞社  
取締役営業担当兼大阪支社長  
櫻木 範行

(独)住宅金融支援機構  
技術総合サポート部長  
相原 康生

(一社)日本木造住宅産業協会  
専務理事  
加藤 永



チラシPDFはコチラ

## 後援

- 国土交通省 ● 文部科学省 ● 農林水産省 ● 環境省 ● 外務省 ● 住宅金融支援機構 ● 朝日学生新聞社



一般社団法人  
日本木造住宅産業協会

【個人情報の取り扱いについて】

本作文コンクールの応募により提供された個人情報は、作文コンクールの目的以外には使用いたしません。受賞作品の著作権は主催者に帰属します。  
※応募作品は返却いたしません。※応募作品につきましては、木住協管理のもと冊子および新聞等に掲載する場合がありますので、ご了承ください。

発表

2026年10月24日(土)に木住協のホームページ  
および朝日小学生新聞紙面で発表。  
※入選者の方には事前にご連絡いたします。

表彰式

2026年10月24日(土) 13:00~  
会場は東京都内を予定。  
※受賞者の方には事前にご連絡いたします。

お問合せはこちら!

(一社)日本木造住宅産業協会「作文コンクール」事務局  
TEL.03-5114-3015 e-mail✉: sakubun@mokujukyo.or.jp





木住協公式Instagram  
過去の作文や表彰式をチェックしてみよう!



たくさんの賞があります!

国土交通大臣賞・文部科学大臣賞・農林水産大臣賞・環境大臣賞・外務大臣賞ほか多数!受賞者には賞状と図書カード(副賞)を用意しています!

|          |     |                               |        |     |                    |
|----------|-----|-------------------------------|--------|-----|--------------------|
| 大臣賞      | 10点 | 賞状と副賞(図書カード3万円分)              | 佳作     | 22点 | 賞状と副賞(図書カード3千円分)   |
| 各種団体賞    | 8点  | 賞状と副賞(図書カード1万5千円分/4名、1万円分/4名) | 最優秀団体賞 | 1校  | 賞状と副賞(図書カード3万円分)   |
| 木住協ブロック賞 | 20点 | 賞状と副賞(図書カード5千円分)              | 優秀団体賞  | 若干校 | 賞状と副賞(図書カード1万5千円分) |

夏休み期間で取り組みやすく、  
全員に参加賞がもらえるので、子供も  
「やってみる!」という気になったようです。

東京での表彰式にご招待いただき、  
素晴らしい思い出となりました。

しょうじょうをステージでもらうのは、めっちゃきんちょうしたよ。

みなさまからの声



子供が作文を書くにあたり、  
色々聞いたり調べた  
夏休みの時間や経験は  
本当に貴重でした。

Googleフォームで  
個人が直接応募できる仕組みは  
ありがたいです。



一般社団法人  
日本木造住宅産業協会

「木のある暮らし」  
作文コンクール

個人応募用

応募用紙

木住協記入欄

|                   |                    |                             |                                     |    |
|-------------------|--------------------|-----------------------------|-------------------------------------|----|
| 学校名               | 立                  |                             | 小学校                                 | 年生 |
| お名前               | ふりがな               |                             | ふりがな                                |    |
|                   | 姓                  |                             | 名                                   |    |
| ご自宅住所             | 〒 _____ 都道府県 _____ |                             |                                     |    |
| TEL               | ( _____ )          | メールアドレス                     |                                     |    |
| AIに文章を作らせてはおりません。 |                    | <input type="checkbox"/> はい | ※生成AIに文章の作成を任せた作品は、応募を無効とさせていただきます。 |    |

今回の作文コンクールは  
何によって知りましたか?  

該当する項目に  
チェックを入れてください。

☐ 1. 学校からの案内

☐ 2. 学校等に掲示されているチラシを見て

☐ 3. 知り合いからの紹介

☐ 4. 過去に応募しているから

☐ 5. ホームページで(当協会)

☐ 6. 新聞で(朝日小学生新聞)

☐ 7. 新聞で(教育新聞)

☐ 8. 木住協公式Instagram

☐ 9. その他( \_\_\_\_\_ )

応募締切 2026年9月4日(金) 消印有効 ※本応募用紙は郵送用としてご利用ください。

郵送用ラベルとして  
ご利用ください。

郵送前のチェック!

☐ 応募用紙の記入漏れ

☐ 応募作品の同封

〒354-0045

埼玉県入間郡三芳町上富1141-10 (TEL:03-5114-3015)

一般社団法人 日本木造住宅産業協会

「木のある暮らし」作文コンクール事務局 行き

れ い わ ね ん ど 令和8年度 なつ や す 夏休み じ ゆ う お う ぼ 自由応募の作文など さくぶん い ち ら ん 一覧

| 応募<br>番号 | コンクール名                      | 主催                           | 応募規定                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 参加<br>賞 |
|----------|-----------------------------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 1        | 「社会を明るくす<br>る運動」作文コン<br>テスト | 「社会を明るくす<br>る運動」愛知県推<br>進委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・400字詰め原稿用紙3～5枚程度</li> <li>・原稿1枚目の欄外右側に題名、学校名、学年、氏名（ふりがな）を明記</li> <li>・「犯罪・非行をした人の立ち直りなどについて」をテーマに考えたこと</li> </ul>                                                                                                                                         |         |
| 2        | 徳川家康公<br>作文コンクール            | 公益財団法人<br>徳川記念財団             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・400字詰め原稿用紙【1, 2年】1枚程度【3年】2枚程度【4～6年】5枚以内（図表も必要な場合は含む）右上をホチキスで留める。</li> <li>・鉛筆で濃く書く。作品に表紙をつけて①題名②学校名③学年④氏名（ふりがな）を記入</li> <li>・課題「家康公の平和思想と徳川将軍たち～今に受け継がれる心～」</li> <li>・題名、内容は自由。自分の住むまちと家康公や三河武士について、本を読んだり、調べたり、近所の史跡に行ってみたり、聞いたりして感じたこと、思ったこと</li> </ul> |         |
| 3        | 感動作文<br>コンクール               | 公益財団法人 上<br>廣倫理財団            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・400字詰め原稿用紙に2枚から3枚（1,200字）まで。</li> <li>・原稿用紙のマス内にタイトル・名前を記入しても構わない。濃くはっきりと文字を書きます。</li> <li>・テーマは「感動」です。</li> <li>・挑戦する子は注意事項をよく読み、<u>作品添付票と一緒に提出しましょう。</u></li> </ul>                                                                                     | ○       |
| 4        | 「ありがとう」こ<br>ども作文コンクー<br>ル   | 読売新聞社                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・400字詰め原稿用紙3枚以内。テーマは①②③どちらかを選ぶ。</li> <li>①身近なはたらく人へ、ありがとう</li> <li>②あこがれの仕事、かなえたい夢</li> <li>③みんなに伝えたい わたしの町</li> <li>・どのテーマを選んだかおよび作文のタイトルを明記</li> <li>・<u>応募用紙と一緒に提出しましょう。</u></li> </ul>                                                                 | ○       |
| 5        | 木のあるくらし<br>作文コンクール          | 一般社団法人日本<br>木造住宅産業協会         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・B4サイズ400字詰め原稿用紙 200字～1200字程度</li> <li>・原稿用紙の1行目に「題名」、2行目に「学校名」「学年」「氏名」を記入</li> <li>・作品は、本人の手書きのみ</li> <li>・テーマは「まわりにある木のこと」</li> </ul>                                                                                                                    | ○       |

★自由応募の作文を書いた人は、始業式の日提出してください。応募番号（1～5）をふせんなどで分かるようにしてください。

★応募する作品は、「自分で作ったもの」「未発表のもの」にかぎります。（生成AIによる作文や不適切な引用があった場合、受賞が取り消しとなる場合があります。）

★作品は返却されません。必要な場合はコピーをとっておきましょう。

## 令和8年度 夏休み習字作品の応募要項

|   | 題                | 対象   | 締め切り  | 課 題                                                                | 応募点数・参加賞                   |
|---|------------------|------|-------|--------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| 1 | 少年消防クラブ 「火の用心」   | 5・6年 | 8月27日 | 「火の用心」（半紙・楷書）<br>作品の左側に学校名、学年、名前を書く。                               | 1人1点<br>参加賞なし              |
| 2 | 税に関する習字 「税と未来」   | 5・6年 | 8月27日 | 「税と未来」（半紙・楷書）<br>作品の左側に学校名、学年、名前を書く。                               | 1人1点<br>参加賞あり              |
| 3 | 赤い羽根 児童生徒作品コンクール | 3～6年 | 8月27日 | （半紙）学校名・学年・氏名を左側に書く。<br>3・4年 ぼきん、赤いはね、たすけあい<br>5・6年 共同募金、赤い羽根、思いやり | 1人1点<br>参加賞なし              |
| 4 | JA共済 小中学生書道コンクール | 1～6年 | 8月27日 | 下記参照<br>学年、氏名を書く。学校名はなし。                                           | 半紙・条幅<br>それぞれ1人1点<br>参加賞あり |

### JA共済 小中学生書道コンクール （R8）

| 区 分 | 半 紙  | 条 幅   |
|-----|------|-------|
| 1 年 | なえ   | れきし   |
| 2 年 | きぼう  | はつが   |
| 3 年 | いねかり | 道しるべ  |
| 4 年 | 信念   | 種まく時  |
| 5 年 | 幸せの輪 | 伝統の美  |
| 6 年 | 将来の姿 | 地域の未来 |

| 正しい書き方 |      | 誤った書き方(審査の対象外となります) |                |            |                   |
|--------|------|---------------------|----------------|------------|-------------------|
| 図例 1   | 図例 2 | 図例 3                | 図例 4           | 図例 5       | 図例 6              |
|        |      |                     |                |            |                   |
|        |      | 学年・氏名のないもの          | 小・中学校の別を記入したもの | 学校名を記入したもの | 学年・氏名の順を誤って記入したもの |

(注)3文字課題の場合のみ、学年・氏名の配置は、図例1、2どちらでも可とします。

(注)学校名などは記入しないでください。